

受付	個人質問	第	号
	令和 年 月 日	時	分

## 一般質問＜個人＞発言通告書

令和6年2月13日

長久手市議会議長 殿

長久手市議会議員 にしだ亮太

会議規則第59条第2項の規定により下記のとおり通告します。

	質問事項及び要旨	備考
1	<p><b>立石池について</b></p> <p>愛知県から移譲された立石池は落下防止のため、木製の安全柵で周囲を取り囲んでいるが、安全柵は朽ちている箇所も多く、その役割を果たしていない。立石池の最深部は4メートルあり、子どもやお年寄りが転落し命を落とす危険性があると考えられる。</p> <p>(1) 安全柵の整備について</p> <p>ア 今後の整備計画はどのようなか。</p> <p>イ 県から修繕費用の補助金はあるのか。その際、本市と県の負担割合はどのようなか。</p> <p>(2) 立石池はブラックバスが釣れるということで釣りの名所となっている。しかし決まった釣り場がないので、多くの人は安全柵を超えて、内側の堤防で釣りをしており、安全な状態とはいえない。一方で釣りをする人と、立石池の周囲をウォーキングする人や車椅子で走行する人との距離が近くなると、竿を上げた際、ルアーや釣り針で怪我をする危険性がある。</p> <p>ア 釣りの禁止区域ではないのか。</p> <p>イ 立石池の東屋付栈橋に限り、釣りを許可しないか。</p>	
2	<p><b>長久手市文化の家について</b></p> <p>(1) 令和5年に開館25周年を迎えた長久手市文化の家は平成</p>	

	<p>10年7月15日に長久手町文化の家として開館し、市制施行に伴い長久手市文化の家へと名前を変え、とりわけ音響のいいホールは市内外からも好評を博している。本施設は令和7年1月から令和8年3月まで特定天井改修等により全館休館に入る予定である。</p> <p>ア 生涯学習課はどこに配置されるのか。</p> <p>イ 全館を休館にする必要性はあるのか。</p> <p>(2) 長久手市文化の家で活動している団体の中には、日々の稽古等にかかる施設使用料を支払っている団体と免除されている団体がある。</p> <p>ア 施設使用料を免除されている団体はいくつあるのか。</p> <p>イ それらの団体が施設使用料を免除されている根拠はどのようなか。</p>	
3	<p><b>地震発生時の対応について</b></p> <p>(1) 令和6年1月1日に発生した能登半島地震において、多くの方が命を落とすこととなった。今もなお、少なくとも2万3,000人が避難所や親戚の家に身を寄せたり、車中泊を続けるなど、長期に及ぶ厳しい避難生活を余儀なくされている。今回の地震は多くの方が帰省していると考えられる長期連休中に発生しており、被災地の避難経路やハザードマップを認識していない人も多く、人的被害を拡大させた側面がある。市外に住む市民の家族にも本市の避難所までの経路やハザードマップを知っていただくよう市民に啓発しないか。</p> <p>(2) 幹線道路の寸断によって被災者の安否確認作業が遅滞したとの報道もある。建造物の崩落や市内の道路が寸断され、車両による安否確認が困難であると考えられるとき、市民の安否確認をどのように行うのか。</p>	
4	<p><b>中学校の休日の部活動の地域移行について</b></p> <p>(1) 部活動検討委員会において進めてきたこれまでの過程について、小中学生の子どもを持つ保護者に対して十分な説明を果たしてきたと考えるか。</p> <p>(2) 部活動の地域移行後に万が一、管理者の過失により怪我を負わせる事案やハラスメント事案が発生した場合、責任の所在はどこになるのか。</p>	
5	<p><b>N-バスについて</b></p> <p>(1) 今年度、地域公共交通計画の策定が予定されている。市東</p>	

	<p>部は居住者が西部より少なく、高齢者の割合も高い。このような現状を踏まえ、N-バスの運行ルートや時刻表の今後について、本市の見解を伺う。</p> <p>(2) 市長公約にもある75歳以上のN-バスの運賃無料化について、文字通り無料で乗車していただくのか、何らかの制度を用いて実質無料にする形をとるのか、市長の見解を伺う。</p> <p>(3) DXを活用した近隣市町との広域バス連携を検討したことはあるか。</p>	
--	---	--